



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

〔 心と体の健康を求めて (human healthcare) 〕
～ Well-being 幸せになろうね！ 幸せになろうよ！ ～

私のように80有余年の長きにわたって人生を歩んでくると、まず最初に気付くことは
”人の生き立ちとヒトの成り立ちのはじまり”を感じることでした。

人はこの世に生命を授けられてからは、
すべての者は等しく環境(気候・風土・文化・歴史・宗教)の影響を受けて育ちます。
しかし私は長い間この人間教育(保育・福祉)の仕事に携わってきて感じたことは
すべてのものに”天命・天意”があるということでした。

目に見えない”偉大なる人・something great”のお力が働き、
「私たち一人ひとり、すべてのものの存在が在る」
ということ強く知らしめられることが多々あったという現実でした。

だから私たち(社福)童心会は”保育”という古い概念から離れて
「人間学と人間科学に基づく人間教育」を目指すことを考えました。
即ち、人間学とは2000年以上も前から伝えられてきた仏教・仏陀(ブツダ)の訓えでもあり、
東洋思想の影響を受けつないだ訓えを取り入れた人生訓でもあり、
人間教育の根幹をなす規範を取り入れた私たちの理念でもありました。

具体的には「笑顔・挨拶・思いやり・感謝・傾聴・共感・受容」を実学することであり、
自然信仰(八百万の神々)を通してすべてのものに”ありがとう”という感謝の念を育むことであります。
そして次にある「人間科学に基づく」とは、日本では1995年京都大学に導入された
fMRI(fMRI(機能的磁気共鳴画像法)などによる脳神経科学の進化は著しく、
科学的根拠(evidenve)に基づいた人間教育が求められていることを知るべきであると感じたからです。

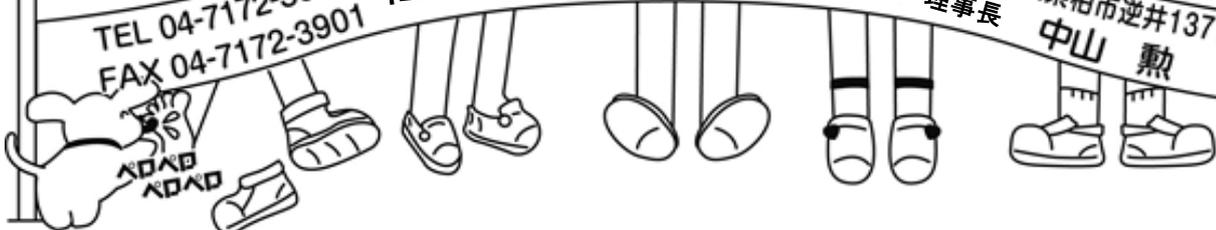


笑ったかす一番 だっこされたかす一番 やさしくされたかす一番
遊んだかす一番 でかけたかす一番 チャレンジしたかす一番



E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939 FAX 04-7172-3901 社会福祉法人 童心会 〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



特に私は翻訳者の掛札逸美先生、他2名著のご本
『21世紀の証拠に基づく「子ども育て」KKぎょうせい』の中で、
21世紀に発表された研究論文150を含む200の証拠の中でも、私たちが50数年前から取り組んできた
「五感を刺激する0歳からの人間教育」を次のような言葉と方法で紹介していました。

[人間教育の摂理(serve & return)]

- 1) 生まれた瞬間から子どもの脳と体を育てる科学的な方法を考えながら生きること
- 2) 知識、技術 : 誕生から死ぬまで、学び、身につけるもの(生涯学習・生涯教育)

私たちは改めて新しい科学の研究の成果から
「10才頃までにidentity(主体性)の基盤のほとんどは作られる」と科学的根拠を教えられてきました。
だから私は“法人だより1月号”の中で書いた人創りの四つの基盤を2025年(令和7年)、
(社福)童心会の実行目標の道しるべにしな
私たちの“新しい行動目標”を探し続けていきたいと思っています。

[今から・ここから・自分から]

- | | |
|--|----------------------------------|
| 1. 人格(personality)の核はどのように形成されたか? | 1. 人格を高める |
| 2. 人間性(human nature)の質はどのように養い育てられたのか? | 2. 人間性を豊かにする |
| 3. 人生観(life style)性格の基盤はどのように創られたのか? | 3. 人生観を広げる |
| 4. 主体(agency)自我の成り立ちはどのような歩みをしてきたのか? | 4. 自ら考え主体的に行動できる
(外界に働きかける自分) |

改めて私たち(社福)童心会の保育・福祉に対する保育目標から人間教育の目標
「思いやりと生きる力」が生まれた背景
には50有余年前に天から私に与えられた言葉であるという自負心があります。
詳しい意味も分からずに目標に決めたのですが、それは仏教哲学の「慈悲と智慧」であることが分かりました。

理学博士 佐治春夫氏は基礎物理学の権威者ですが、次のように科学的に説明をしているのです。

先生はかつて京都の国際日本文化研究所で研究員をしていた時、
科学と宗教というプロジェクトに関わり、いろいろな宗教に共通する基本的な要素は何かについて
調べたことがあったというのです。

『ヒンドゥー教、ユダヤ教、仏教、キリスト教、イスラム教、道教、儒教などの教義の訓えの中から
大切な部分を因数分解すると、基本教義はひと言で表現すると「慈悲」という言葉です。

慈悲の慈とは「人に安らぎを与えられたらいいな、と心から願うこと」、
悲とは「人の苦しみや悲しみを和らげてあげられたらいいな、と心から願うこと」
それがすべての宗教に通底(底辺に共通性)している思想だと分かった』というのです。
そしてその訓えは私たち(社福)童心会の人間としての生きる心得「現代版 無財の七施」
「笑顔・挨拶・思いやり・感謝・傾聴・共感・受容」になったのです。

今日もまた一日一生を念じながら
すべての仲間たちのWell-being “幸せになろうね！幸せになろうよ！”と
祈り願い続けていくつもりです。
どうぞいつまでもお幸せに!!

令和7年 6月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲